

新しい幸せを、わかすこと。



News Letter

2013年6月5日

ノーリツグループ今夏も節電に取り組む 最大使用電力 15%削減目標を策定

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ（本社：神戸市、代表取締役社長：國井総一郎、資本金 201 億円、東／大証一部上場）は、今夏（2013 年 7 月～9 月）も継続して節電の取り組みを進めます。今夏も昨年同様、最大使用電力を 2010 年比 15%削減することを目標とします。冬の節電の取り組みでは、最大使用電力の 20%以上（2010 年比）の削減を達成いたしました（2012 年 12 月～2013 年 3 月）。環境省認定のエコ・ファースト企業として、低炭素社会の構築に向けた節電への取り組みを推進します。

今夏の節電の取り組みでは、当社グループの生産拠点を中心に全 17 施設での、最大使用電力を 15%削減（2010 年比）することを目標にします。昨夏では 20%（2010 年比）の削減を達成しました。

最大使用電力の削減は、当社および当社グループの大成工業、信和工業、エスコアハーツ、多田スミス、ハーマン、アールビー、関東産業などの国内生産拠点を中心に取り組みます。また、その他の事業所、営業拠点については、7～9 月の最大電力消費量を 2010 年比 15%削減に努めます。

目標達成に向け、空調温度の 28℃設定や、蛍光灯の照度調整、OA機器の省エネ設定、スーパークールビズの推奨など、9 分類 17 項目の節電対策を重点的に実施し、節電に取り組めます。また、必要に応じて「節電パトロール」を実施するなど、節電目標達成に向けた活動の良い点や改善点を、全社で共有し、今夏も節電の取り組みを継続して進めます。



昨年実施の節電パトロールの様子